

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|--|----------------------|------------|-----------------------------|---|-----|
| 授業科目名 | 木管楽器修理概論Ⅱ | 授業形態 / 必・選 | 講義 | 必修 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 30回(60単位時間) | 年間単位数 | 4単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input type="checkbox"/> | 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 基礎的な調整を理解したうえでの、実践方法、作業手順の組み立て、考え方などの応用法を、修理実演や動画も使用して解説。対面講義と動画配信によるオンライン授業形式で学ぶ。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| どんな状況でも修理対応ができる基礎力と、さまざまな楽器への応用力の修得。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------|--|
| 【前期】1回目 | フルート・クラリネット連動解析 |
| 【前期】2回目 | 木管楽器バランス調整、フルートバランス分析 |
| 【前期】3回目 | フルート調整構造解説 |
| 【前期】4回目 | フルート連動調整 |
| 【前期】5回目 | クラリネット連動調整 |
| 【前期】6回目 | フルートタンポ調整応用 |
| 【前期】7回目 | アゴ調整 |
| 【前期】8回目 | コルクタンポ調整 |
| 【前期】9回目 | フルートキコルク交換 |
| 【前期】10回目 | フルートトリルキ調整、ヘッドコルク交換 |
| 【前期】11回目 | バネ交換調整 |
| 【前期】12回目 | サクソネックコルク交換 |
| 【前期】13～16回目 | サクソ連動調整 |
| 【前期】17～18回目 | 木管楽器作動調整 |
| 【前期】19回目 | フルート嵌合調整 |
| 【前期】20回目 | サクソ嵌合調整 |
| 【前期】21回目 | 木製管体嵌合調整 |
| 【前期】22回目 | フルートリングキタンポ調整 |
| 【前期】23回目 | フルートノックピン調整 |
| 【前期】24～25回目 | フルート調整応用 |
| 【後期】26回目 | 木製管体の息漏れ修理 |
| 【後期】27回目 | ジョイントリング修理、バネ穴修正 |
| 【後期】28回目 | ピッコロ調整 |
| 【後期】29回目 | オーボエ、ファゴット調整 |
| 【後期】30回目 | 管楽器調整応用 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 常にその楽器をイメージすることと、他楽器での応用までを考えて取り組むこと。修理が必要な楽器の状態はさまざまで、短時間で判断して作業工程を組み立てる必要があるため、管楽器リペア実習とともに繰り返し考察することが大切である。 |
| 使用教科書 | 講義ごとにテキスト配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | |
|--|----------------------|------------|-----------------------------|---|
| 授業科目名 | 金管楽器修理概論Ⅱ | 授業形態 / 必・選 | 講義 | 必修 |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年次 | 2年次 | |
| | 年間授業数 | 8回(16単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input type="checkbox"/> | 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> |
| 担当講師 実務経歴 | / | | | |
| 授業概要 | | | | |
| 基礎的な調整を理解したうえでの、実践方法、作業手順の組み立て、考え方などの応用法を、修理実演や動画も使用して解説。対面講義と動画配信によるオンライン授業形式で学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | | | | |
| どんな状況でも修理対応ができる基礎力とさまざまな楽器への応用力の修得。 | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---------------|---|
| 【前期】 1回目 | ハンダ付け セッティング、マウスパイプ交換 |
| 【前期】 2～3回目 | ヘコ出し |
| 【前期】 4回目 | ホルン ストッパー交換、トロンボーンスライド停止帯コルク交換 |
| 【前期】 5回目 | ロータリー調整 |
| 【前期】 6回目 | トロンボーンスライド調整 |
| 【後期】 1回目 | ウォーターキー調整 |
| 【後期】 2回目 | 固着修理 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 常にその楽器をイメージすることと、他楽器での応用までを考えて取り組むこと。修理が必要な楽器の状態はさまざま、短時間で判断して作業工程を組み立てる必要があるため、管楽器リペア実習とともに繰り返し考察することが大切である。 |
| 使用教科書 | 講義ごとにテキスト配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|--|---------------------------------|----------|-----------------------------|---|-----|
| 授業科目名 | 管楽器商品知識Ⅱ | 授業形態/必・選 | 講義 | 必修 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 15回(30単位時間) | 年間単位数 | 2単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器/打楽器コース、ピアノ/管楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input type="checkbox"/> | 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | / | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| ホルン・トロンボーン・ユーフォニウム・チューバ・オーボエ・ファゴット・マーチングブラス・アクセサリーの楽器・製品説明を、動画配信によるオンライン授業形式で学ぶ。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 楽器の特徴・メカニズム・システムから、メーカーごとの特徴・売りなど、販売修理知識の修得。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---------------|---|
| 【前期】 1～4回目 | ホルン概要・製品解説 |
| 【前期】 5～8回目 | トロンボーン概要・製品解説 |
| 【後期】 1回目 | ユーフォニウム概要・製品解説 |
| 【後期】 2～3回目 | チューバ概要・製品解説 |
| 【後期】 4回目 | オーボエ概要・製品解説 |
| 【後期】 5回目 | ファゴット概要・製品解説 |
| 【後期】 6回目 | マーチングブラス概要・製品解説 |
| 【後期】 7回目 | アクセサリー製品解説 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 異なる楽器でもその特徴などは類似する点が多いので、常に関連付けて考えられるように取り組むこと。講義だけでは活きた情報にはならないので、自ら楽器店などでその製品の特長などを観察・試奏することも重要になる。 |
| 使用教科書 | 「管楽器価格一覧表」ミュージックトレード社、「カラー図鑑 楽器の歴史」河出書房新社、各メーカーカタログ、資料配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|---|--|------------|------------|-------|-----|
| 授業科目名 | 学販商品知識 | 授業形態 / 必・選 | 講義 | 必修 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 8回(16単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器／打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 各楽器の歴史・種類・名称・メカニズム・材質からメーカーの歴史・特徴・主要機種・定番機種などを学ぶ。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 学校販売で扱う教育楽器等のうち、管楽器以外の楽器についての販売知識の修得。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---------------|--|
| 【前期】 1回目 | リコーダー概要・製品解説 ハーモニカ概要・製品解説 |
| 【前期】 2回目 | 鍵盤ハーモニカ概要・製品解説 アコーディオン概要・製品解説 |
| 【前期】 3回目 | 和楽器概要・製品解説 電子楽器概要・製品解説 |
| 【前期】 4回目 | バイオリン概要・製品解説 |
| 【前期】 5～6回目 | ピアノ概要・製品解説 |
| 【前期】 7～8回目 | ギター概要・製品解説 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 楽器店での販売営業、外販営業知識として学ぶが、単に知識としてだけではなく、顧客にとって最良の商品をいかに勧めるか、その選択肢を提示するかをイメージして取り組むこと。 |
| 使用教科書 | 講義ごとにテキスト配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|--|------------------|------------|-----------------------------|---|-----|
| 授業科目名 | 打楽器基礎知識 | 授業形態 / 必・選 | 講義 | 必修 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 13回(26単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器／打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input type="checkbox"/> | 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | / | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 各打楽器の歴史・種類・名称・メカニズム・材質からメーカーの歴史・特徴・主要機種・定番機種などを学ぶ。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 打楽器販売における基礎知識の修得。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------|--|
| 【前期】1回目 | 学校販売とは、打楽器の分類、ドラムパーツ名称 |
| 【前期】2回目 | ドラムパーツ、スネアドラム |
| 【前期】3回目 | コンサートバスドラム |
| 【前期】4回目 | ティンパニ、シンバル |
| 【前期】5回目 | ドラムセット、エレキドラム、スティック |
| 【前期】6回目 | ドラムセット、エレキドラム、スティック |
| 【前期】7回目 | スティック、ドラムヘッド、練習台、ミュート |
| 【前期】8回目 | 音板打楽器 |
| 【前期】9回目 | 音板と共鳴管、音板打楽器のメンテナンス |
| 【前期】10回目 | マレット、チューブラーベル、チェレスタ |
| 【前期】11回目 | マーチングパーカッション |
| 【前期】12回目 | ラテンパーカッション |
| 【前期】13回目 | まとめ |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 数多く存在する打楽器の種類、音色に興味を持ち、日ごろから打楽器に触れる機会を増やし、カタログ収集などを進んで行うことがより理解を深める。 |
| 使用教科書 | 講義ごとに適宜テキスト配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|---|------------------|------------|-----------------------------|---|-----|
| 授業科目名 | 打楽器調整 | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 必修 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 22回(44単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器／打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input type="checkbox"/> | 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | / | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| スネアドラム・バスドラム・ドラムセット・ティンパニ・マリンバ・ビブラフォンなどの基本的な取り扱い方や奏法とパーツ交換などのメンテナンス(修理)方法の実践。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 楽器ごとの作業(調整修理)方法の修得。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------|---|
| 【前期】1回目 | スネアドラムヘッド交換 |
| 【前期】2回目 | リズムトレーニング |
| 【前期】3回目 | ビブラフォン分解・組立 |
| 【前期】4回目 | リズムトレーニング |
| 【後期】5回目 | ドラムセットセッティング・奏法 |
| 【後期】6回目 | リズムトレーニング(ドラム) |
| 【後期】7回目 | ラテン打楽器調整・奏法 |
| 【後期】8回目 | リズムトレーニング(ラテン) |
| 【後期】9回目 | バスドラムヘッド交換(基礎) |
| 【後期】10回目 | リズムトレーニング |
| 【後期】11回目 | マリンバ分解・組立 |
| 【後期】12回目 | リズムトレーニング |
| 【後期】13回目 | ティンパニヘッド交換 |
| 【後期】14回目 | リズムトレーニング(ティンパニ) |
| 【後期】15回目 | マレットリペア |
| 【後期】16回目 | スネアドラム全分解 |
| 【後期】17回目 | リズムトレーニング |
| 【後期】18回目 | ティンパニヘッド交換・シンバル手革交換 |
| 【後期】19回目 | リズムトレーニング |
| 【後期】20回目 | スネアドラム全分解 |
| 【後期】21回目 | ティンパニヘッド交換(応用) |
| 【後期】22回目 | 打楽器アンサンブル |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 数多く存在する打楽器の種類、音色、奏法に興味を持つことが重要。基本的な奏法を学び、音色に注意を傾けることも重要になる。実際に取り扱う楽器は主に吹奏楽において必要とされるものが中心となる。 |
| 使用教科書 | 課題ごとに適宜テキスト配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|--|---|----------|--|------------------------------|------|
| 授業科目名 | 木管楽器リペアⅡ-B | 授業形態/必・選 | 実習 | 必修 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 196回(392単位時間) | 年間単位数 | 13単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器/打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験 14年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| フルート・クラリネット・サクスの修理方法の実践。指定課題を指定期限内に提出することで、現場での納期と作業計画、接客対応をシミュレーションさせる。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 1年次の基礎を元に、より早く、より正確に楽器調整を完了させる。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～119回目 | フルート:タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換 キコルク交換・バネ調整・パーツ交換 (74回) |
| | クラリネット:タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換 バネ調整・パーツ交換 (68回) |
| | 【後期】 1～77回目 |
| | サクス:タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換 バネ調整・パーツ交換 (52回) |
| | 木管選択:オーボエ基礎奏法、フルート調整、クラリネット調整、サクス調整から選 択 (2回) |
| 備考 | 楽器ごとの実習班に分かれた作業のため、履修楽器が順番に代わる。 |
| 評価方法 | 学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 繰り返し作業をするが、故障の状況に応じた課題以外の修理を行う場合もある。単に 課題を終わらせるのではなく、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進め ることをめざし、自ら進んで考えることで応用力を養うことは大切である。 |
| 使用教科書 | 木管楽器修理概論Ⅱ、金管楽器修理概論Ⅱと同様 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|---|---|----------|--|------------------------------|-----|
| 授業科目名 | 金管楽器リペアⅡ-B | 授業形態/必・選 | 実習 | 必修 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 48回(96単位時間) | 年間単位数 | 3単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器/打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験 14年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| トランペット・トロンボーン・ホルンの修理方法の実践と工具製作。指定課題を指定期限内に提出することで、現場での納期と作業計画、接客対応をシミュレーションさせる。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 1年次の基礎を元に、より早く、より正確に楽器調整を完了させる。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--------------------------------------|---|
| 【前期】 1～24回目 【後期】 1～24回目 | トランペット:ハンダ付け・拔差管調整・ピストンバルブ調整・パーツ交換 (18回) |
| | トロンボーン:スライド停止帯交換・スライド調整・パーツ交換 (8回) |
| | ホルン:ロータリーバルブ調整・拔差管調整・パーツ交換 (6回) |
| | 金管楽器:ヘコ出し (6回) |
| | 工具製作 (10回) |
| 備考 | 楽器ごとの実習班に分かれた作業のため、履修楽器が順番に代わる。また、トロンボーンの基礎奏法の履修も含む。 |
| 評価方法 | 学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 繰り返し作業をするが、故障の状況に応じた課題以外の修理を行う場合もある。単に課題を終わらせるのではなく、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、自ら進んで考えることで応用力を養うことは大切である。 |
| 使用教科書 | 木管楽器修理概論Ⅱ、金管楽器修理概論Ⅱと同様 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | |
|--|---|------------|--|------------------------------|
| 授業科目名 | 管楽器選択リペア-B | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 必修 |
| | | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 38回(76単位時間) | 年間単位数 2単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器 / 打楽器コース | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験 14年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。 | | | |
| 授業概要 | | | | |
| 内容は原則として木管楽器リペア実習Ⅱ、金管楽器リペア実習Ⅱに準ずる。 各自が任意の修理作業を選択し、修理技術の向上を追求する。 | | | | |
| 到達目標 | | | | |
| 楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。 | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|---|
| 【後期】 1～38回目 | <p>木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キコルク交換・バネ調整・パーツ交換</p> <p>木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・バネ調整・パーツ交換</p> <p>木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・バネ調整・パーツ交換</p> <p>金管楽器リペア トランペット ハンダ付け・抜差管調整・パーツ交換</p> <p>金管楽器リペア トロンボーン スライド停止帯交換・スライド調整・パーツ交換</p> <p>金管楽器リペア ホルン ロータリー調整・抜差管調整・パーツ交換</p> <p>金管楽器リペア ヘコ出し</p> <p>その他 金属加工、ダブルリード楽器修理</p> |
| 備考 | 履修期間内で、任意の課題を選択する。 |
| 評価方法 | 学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 繰り返し作業をするが、故障の状況に応じた課題以外の修理を行う場合もある。 |
| 使用教科書 | 木管楽器修理概論Ⅱ、金管楽器修理概論Ⅱと同様 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|---|--|------------|------------|-------|-----|
| 授業科目名 | 管楽器業界演習Ⅱ | 授業形態 / 必・選 | 演習 | 必修 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 180分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 5回(20単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | / | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 管楽器業界の概要説明、企業による製品、技術セミナーや仕事の話、リクルートセミナー、販売演習を行う。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 楽器の専門知識の実践と、実際の応用方法を理解する | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------|---|
| 【前期】 1回目 | 管楽器業界の企業による仕事解説、製品、技術セミナー |
| 【前期】 2回目 | 就職講座(面接実践) |
| 【前期】 3回目 | 販売基礎知識(利益計算) |
| 【後期】 1回目 | 管楽器業界の企業による仕事解説、製品、技術セミナー |
| 【後期】 2回目 | 販売講座、販売シミュレーション |
| 評価方法 | 平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 実際に仕事を経験することで、進路に対する興味を持ち積極的な行動ができるよう努めること。 |
| 使用教科書 | 適宜資料配布 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|-----------------------------------|---|------------|--|------------------------------|-----|
| 授業科目名 | 選択前期ウインドアンサンブルⅡ | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 選択 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 18回(36単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験 35年 アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 吹奏楽曲の合奏。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|--|
| 【前期】 1～18回目 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。 |
| 使用教科書 | ティップス、3D、別紙譜面を配布 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|-----------------------------------|--|------------|--|------------------------------|-----|
| 授業科目名 | 選択前期木管室内楽Ⅱ | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 選択 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 18回(36単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験 19年 ライブやコンサート出演のほか、劇伴、CM、ドラマ、アルバムレコーディング、コンサートサポートなどに参加。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 木管楽器室内楽曲の合奏。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|--|
| 【前期】 1～18回目 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。 |
| 使用教科書 | ティップス、3D、別紙譜面を配布 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|-----------------------------------|--|------------|--|------------------------------|-----|
| 授業科目名 | 選択前期金管室内楽Ⅱ | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 選択 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 18回(36単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験 21年 ライブサポート、レコーディング、パーティ、テーマパーク、学校公演などさまざまな現場で活動中。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 金管楽器室内楽曲の合奏。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|--|
| 【前期】 1～18回目 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。 |
| 使用教科書 | ティップス、3D、別紙譜面を配布 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|-----------------------------------|--|------------|--|------------------------------|-----|
| 授業科目名 | 選択前期ビッグバンドアンサンブルⅡ | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 選択 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 18回(36単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験 19年 学生時代より、ライブやTVでの仕事を始める。2006年メジャーデビュー。その後、アンサンブルやジャズ奏法のレッスンにも力を入れる。現在、トラック制作や、ナレーションの仕事にも携わっている。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| ビッグバンド楽曲の合奏。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|--|
| 【前期】 1～18回目 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。 |
| 使用教科書 | ティップス、3D、別紙譜面を配布 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|---|---|------------|-------------|--|------------------------------|
| 授業科目名 | 選択前期管楽器リペアⅡ | 授業形態 / 必・選 | | 実習 | 選択 |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 18回(36単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験 14年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 管楽器リペアの内容は原則として木管楽器リペアⅡ-B、及び金管楽器リペアⅡ-Bに準ずる。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 管楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|--|
| 【前期】 1～18回目 | フルート: 分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整・バランス調整 クラリネット: 分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整・キョコルク交換・バランス調整・ジョイントコルク交換 サクソ: 分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整 トランペット: 掃除・オイルアップ・ハンダ付け トロンボーン: スライド掃除・オイルアップ・停止帯フェルト交換 ホルン: ロータリー分解組立・掃除・オイルアップ・紐交換 |
| 評価方法 | 学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 木管楽器リペアⅡ-B、金管楽器リペア-Bと連動した授業のため、その履修時期により楽器ごとの実習班に分かれる。繰り返し作業をするが、故障の状況に応じた課題以外の修理を行う場合もある。 |
| 使用教科書 | 木管楽器修理概論Ⅱ、金管楽器修理概論Ⅱと同様 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|-----------------------------------|---|------------|--|------------------------------|-----|
| 授業科目名 | 選択後期ウインドアンサンブルⅡ | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 選択 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 22回(44単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験 35年 アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 吹奏楽曲の合奏。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|--|
| 【前期】 1～22回目 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。 |
| 使用教科書 | ティップス、3D、別紙譜面を配布 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|-----------------------------------|--|------------|--|------------------------------|-----|
| 授業科目名 | 選択後期末管室内楽Ⅱ | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 選択 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 22回(44単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験 19年 ライブやコンサート出演のほか、劇伴、CM、ドラマ、アルバムレコーディング、コンサートサポートなどに参加。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 木管楽器室内楽曲の合奏。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|--|
| 【前期】 1～22回目 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。 |
| 使用教科書 | ティップス、3D、別紙譜面を配布 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|-----------------------------------|--|------------|--|------------------------------|-----|
| 授業科目名 | 選択後期金管室内楽Ⅱ | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 選択 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 22回(44単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験 21年 ライブサポート、レコーディング、パーティ、テーマパーク、学校公演などさまざまな現場で活動中。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 金管楽器室内楽曲の合奏。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|--|
| 【前期】 1～22回目 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。 |
| 使用教科書 | ティップス、3D、別紙譜面を配布 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | |
|-----------------------------------|--|------------|--|------------------------------|
| 授業科目名 | 選択後期ビッグバンドアンサンブルⅡ | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 選択 |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 22回(44単位時間) | 年間単位数 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験 19年 学生時代より、ライブやTVでの仕事を始める。2006年メジャーデビュー。その後、アンサンブルやジャズ奏法のレッスンにも力を入れる。現在、トラック制作や、ナレーションの仕事にも携わっている。 | | | |
| 授業概要 | | | | |
| ビッグバンド楽曲の合奏。 | | | | |
| 到達目標 | | | | |
| 音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。 | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|--|
| 【前期】 1～22回目 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。 |
| 使用教科書 | ティップス、3D、別紙譜面を配布 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|---|---|----------|--|------------------------------|-----|
| 授業科目名 | 選択後期管楽器リペアⅡ | 授業形態/必・選 | 実習 | 選択 | |
| | | 年次 | 2年次 | | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 22回(44単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 管楽器リペアコース、管楽器/打楽器コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験 14年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 管楽器リペアの内容は原則として木管楽器リペアⅡ-B、及び金管楽器リペアⅡ-Bに準ずる。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 管楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|--|
| 【前期】 1～22回目 | フルート:分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整・バランス調整 クラリネット:分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整・キョコルク交換・バランス調整・ジョイントコルク交換 サクソ:分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整 トランペット:掃除・オイルアップ・ハンダ付け トロンボーン:スライド掃除・オイルアップ・停止帯フェルト交換 ホルン:ロータリー分解組立・掃除・オイルアップ・紐交換 |
| 評価方法 | 学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 木管楽器リペアⅡ-B、金管楽器リペア-Bと連動した授業のため、その履修時期により楽器ごとの実習班に分かれる。繰り返し作業をするが、故障の状況に応じた課題以外の修理を行う場合もある。 |
| 使用教科書 | 木管楽器修理概論Ⅱ、金管楽器修理概論Ⅱと同様 |